

## 「子どもの学びをいかに支援すべきか」(河村暁氏講演会)

2月11日 岡山県立図書館多目的ホール

### 感想抜粋 (全参加者130名)

学習困難を記憶の捉え方で分析し、講演していただいたのでとても分かりやすかった。ワーキングメモリという視点も初めて知った。支援者として学習を深め、実践を積んでいくためのスタートになった。

記憶について2つの視点、短期記憶と長期記憶、言語的記憶と視空間的記憶、ワーキングメモリ(処理・保持)の内容が分かりやすかったです。とても参考になりました。

先日、子どもが広汎性発達障害と診断され、今回の講演会に参加させていただきました。「学習で失った自信は学習で取り戻す」という言葉をただで、有難かったです。これから就学予定の子どもにどのように自信を付けさせていけばよいか思案中だったので、親の私としても、少し光が見えた気がします。

「スモールステップ」で行うとよいとよく耳にしますが、具体的な分解例、支援例を教えていただき、参考になりました。

勉強が苦手な子どもに、どう工夫して理解させていけばいいのか、その教え方が理解できた。その子にあった支援を進めていこうと思います。最後の言葉、「学習で失った自信は学習で取り戻す」を忘れず、子どもへの支援をしていきたいと思いました。

学習に困難さがある子どもへの支援がとてもよく分かりました。勤務先でも使えらと感じました。LDの児童を見抜けるかもしれないと思いました。ありがとうございました。

支援学級の支援員をしています。今の担任の先生の指導も素晴らしくて、日々、子どもの成長を感じていますが、いろんな困難をもった児童に対して、その子

に応じた指導がよりできたらなあと感じました。教えていただいた指導法全て興味深かったです。

とても興味深い内容ばかりでした。特に、私は今大学3年生で、中学校英語と特別支援教育を学んでいます。個人的には卒業論文で、自分の興味のあるこの2つの専門をあわせたような研究がしたいと考えていたのですが、今日の国語に関するそれぞれの支援の例が英語の学習にも応用できないかなど考えながら聞かせていただきました。先生の論文も是非調べて読ませていただきたいと思いました。今日は、友人がこの講演会を教えてくれたのですが、この出会いに感謝です。本当にありがとうございました。

我が子に諦めていた読解も支援次第で可能になると言うことが、保護者の希望に繋がりました。

普段、大学の授業では学べない具体的なことがしれて良かったです。今、家庭教師をしている子ども（小3）が、「 $20 + 3 = 203$ 」と答える子です。。。その子の気持ちも分かるような気がしました。

今、私自身も学習支援のようなことをしていますが、学習成果をあげると言うよりは、自己効力感や自己肯定感を重視してやっていきたいと思っています。しかし、やはり、今回、その子の苦手を重点的に見ることも大切だと思いました。

LDのある児童に確認しておくポイントとして、「正しく聞きとっているかどうか」をチェックするというのは、とても印象的でした。LDのある児童への具体的な支援方法がよく分かりました。自分の引き出しが増えたように思います。通常学級でも使える支援もあると思いました。これから教採を受けるので、頑張ろうと思いました。ありがとうございました。

文章読解の5W1Hの実践例は、通常児にも使えるなと思いました。参考にしてみます。

指導法により定着度が異なることがよく分かった。自分にとって良い刺激となった。